

～下記の研究を行います～

『HIV 感染者の標準化死亡比の推移と非エイズ関連疾患の影響』

【研究責任者】感染症内科 医師 小西啓司

【研究の目的】本研究の目的は、大阪医療センターに通院した HIV 感染患者さんの診療情報を用いて、標準化死亡比（SMR; 一般人口と比べて死亡者がどのくらい高いかを示す比）の経年変化と非エイズ指標疾患（悪性新生物や心血管疾患等）の影響を明らかにすることです。

【研究の期間】研究許可日～2028 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2007 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに大阪医療センターを受診した男性の HIV 感染患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：使用しません

情報：診療録から以下の情報を収集します。

生年月、性別、当院初診年月、AIDS 発症の既往の有無、HIV 感染症関連検査（血漿中 HIV-1-RNA 量、CD4 陽性 T リンパ球数）、推定感染経路、死亡日、死因など

【情報等収集開始日】2025 年 7 月 7 日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】

本研究に外部資金の提供はありません。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方に

ご了承くださいない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中心区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 感染症内科 医師 小西啓司